



記者発表資料

「みんなで一緒にあらかわろう！」プロジェクト

『荒川 DX 勉強会』を設立します

～ インフラ分野のDX推進！ 官民の垣根を越えた、勉強会を発足！ ～

国土交通省では、3次元データやデジタル技術の活用を加速するインフラ整備及び管理におけるDX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進に向けて、建設生産プロセスの各段階で3次元モデルや関連する情報、新技術を活用し、受発注者双方の業務の効率化・高度化を図り、建設現場の生産性向上、働き方改革の促進、ワークライフバランスの実現を推進する取組みを進めています。関東地方整備局 BIM/CIM・DX 推進本部会議では、令和3年3月25日に関東 BIM/CIM・DX ロードマップを策定したところです。

また、河川管理の現場においては、あらゆる関係者により流域全体で行う治水「流域治水」への転換が求められており、河川管理者だけでなく河川管理に協力いただく企業や市民団体、河川を利用する市民の方など、流域のあらゆる関係者が容易に川の現状を知ることができる環境が求められているところです。

この度、荒川下流域において、河川管理 DX のあるべき姿の実現に向け官民の垣根を越えた関係者からなる「荒川 DX 勉強会」を開催します。

■開催日時・場所

日時：令和3年4月14日(水) 15:30~17:30

場所：荒川下流河川事務所(2F)(一部WEB開催)

■議題(案)

- ・河川管理 DX の背景
- ・3次元による河川管理 DX の必要性
- ・関係者との意見交換

■注意事項

- ・会議は、報道機関を通じて公開いたします。(取材・撮影可)
- ・傍聴を希望される場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からマスク着用の上、1社につき1名までとさせていただきます。
- ・報道関係者の方で傍聴を希望されるマスコミ関係者の方は4月13日(火)12時00分までに以下のメールアドレスに事前登録をお願いします。

本文：氏名(ふりがな)、所属、連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)

送付先：ktr-arage-press(at)mlit.go.jp

((at)を@に置き換えた上で、送付してください)

記

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、
東京都庁記者クラブ、神奈川建設記者会、川口市記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所
副 所 長 辻 勝^{つじ かつひろ}浩 管理課長 光^{こうべ}部^{ひろし} 博
(電話：03-3902-2311[代表])

■DX 勉強会メンバー（予定）

○設計関係

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会

○測量関係

一般社団法人 東京都測量設計業協会

一般社団法人 埼玉県測量設計業協会

○地質関係

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会

○施工関係

一般社団法人 日本建設業連合会

一般社団法人 東京建設業協会

一般社団法人 埼玉県建設業協会

○道路管理者

東京国道事務所

首都高速道路株式会社

○鉄道管理者

京成電鉄株式会社

○河川専門家

東京都立大学 都市環境学部 教授 横山 勝英

国立研究開発法人土木研究所 河川生態チーム

上席研究員（兼 自然共生研究センター長）中村 圭吾

○データ専門家

筑波大学 システム情報系 准教授 亀田 敏弘

○事務局

関東地方整備局荒川下流河川事務所（河川管理者）

○オブザーバ

関東地方整備局荒川調整池工事事務所

// 荒川上流河川事務所

// 大宮国道事務所

東京都建設局河川部

埼玉県県土整備部

公益財団法人 河川財団